

# 8部

卒業と  
資格・免許状  
取得のために

# 1 // 平成27年度(2015年)9月卒業希望の方へ

## 9月卒業希望者登録と卒業延期願の提出について

卒業までのスケジュールは、前号の『With』108号 p. 62～63をご覧ください。7月卒業試験受験により卒業予定者として登録された方へは、履修状況票を7/16までに発送しました。

卒業予定者に登録された方で、提出後1カ月以上返却されないレポートがある場合は、通信教育部まで督促の連絡をお願いいたします。また、9月中に終了するスクーリングを受講して卒業することが可能な場合もあります（『試験・スクーリング 情報ブック2015』 p. 67参照）。卒業希望者の最後の奮闘を願っております。

- 各卒業判定日（7月末・8月末・9月末）において、卒業要件を達成された方には「卒業確定通知」をお送りしますが、「卒業判定手続きの厳格化」にともない、「卒業証書」の発行は準備の都合上、10/15以降となります。「卒業証明書」は9月末日以降、申込みをいただければ発行します。
- 卒業証書の発行が10月にずれこむことにより、9月卒業者の卒業式は仙台駅東口キャンパスにて、10月17日(土)午前11時～実施予定です。
- 9月卒業予定者に登録されている方で、自己都合により9月の卒業を希望しない場合の申し出期限は7/20まででした。

卒業要件単位の未修得により9月の卒業が難しくなった場合は、その時点で至急「卒業延期願」（『With』108号巻末）を提出してください（提出しないと10月生の方に学費の納入依頼書が発送されません）。

## 2 平成27年度(2016年)3月卒業希望の方へ

### ●「卒業試験」の受験について

9月～H28.1月の科目修了試験で「卒業試験」を受験し合格する必要があります（「卒業研究」合格予定の方を除く）。

### ●初回レポートの提出目標は1/15

卒業判定日（1/15, 2/15, 3/5, 最終3/20）までに合格するためには、各判定日の1ヶ月前までのレポート提出が必要です（『試験・スクーリング 情報ブック2015』p.37参照）。今から学習計画をたてて、早めにレポートを提出するようにお願いいたします。

## 3 社会福祉士 取得希望の方へ

※来年度の実習申込期間は9/1～15です（p.81～82参照）。

### 1 発送物のご案内

『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』2015年度版

H27.5・7月「演習B・II」受講済者（実習免除者除く）に7/10発送済

社会福祉士養成課程履修費（10,000円）納入依頼書（「★■演習A」受講済者宛て。未納入の場合「★■演習B」受講不可）

（6月受講済者）7/1発送済 （7月受講済者）7/31発送済

★■実習指導B-3+演習C-2スクーリング・◆実習事後指導（7/15締切分） 受講許可証 7/22発送済 納入依頼書 7/29発送済

## 「★■演習C」スクーリング（7/25・26開講分）

受講許可証・納入依頼書 6/30までに発送済

実習巡回指導教員決定通知 実習受講者全員に発送済

## 2 11月以降の「社会福祉援助技術演習A・I」について

11/21・22新潟会場は10/15締切、H28. 1/23・24仙台会場は11/30締切で申し込みを受け付けます。

詳細は『With』110号（9月号）でご案内いたします。

## 3 体験学習について

- (1) 体験学習の免除を希望する方は、9/15までに「実務経験実績報告書」（『実習の手引き 第1分冊』2015年度版 巻末様式5）を封書でご提出ください。
- (2) 9/15締切の次年度実習を申し込む方で、「体験学習」の受講が必要な方は、遅くとも12/10までに実施してください。
- (3) 平成25年度以前の入学者は、体験学習が有料（3日間で5千円）になります。該当する方には、「体験学習先内諾報告書」「社会福祉士取得希望者 体験学習個人記録」（『実習の手引き 第1分冊』2015年度版 巻末様式1・2）をご提出後に、納入依頼書を送付いたします。
- (4) 仙台市・新潟市の一部施設での体験学習申込は7/31に締め切りました。該当の下記施設・機関には今後体験学習の申込はできません。

### 【仙台市】

・仙台市青葉区社会福祉協議会 ・仙台市泉区社会福祉協議会 ・仙台市宮城野区社会福祉協議会 ・仙台市若林区社会福祉協議会 ・仙台市太白区社会福祉協議会 ・仙台市宮城野障害者福祉センター ・仙台市若林障

害者福祉センター ・ 仙台市太白障害者福祉センター ・ ハンズ太白  
・ せんだんの館 ・ せんだんの里 ・ せんだんの丘 ・ せんだんの杜リベ  
ラ荘 ・ 仙台市児童相談所

#### 【新潟市】

・ 新潟市社会福祉協議会 ・ 新潟市中央区社会福祉協議会 ・ 新潟市北区  
社会福祉協議会 ・ 新潟市東区社会福祉協議会 ・ 新潟市西区社会福祉協  
議会 ・ 新潟市南区社会福祉協議会 ・ 新潟市秋葉区社会福祉協議会  
・ 新潟市江南区社会福祉協議会 ・ 新潟市西蒲区社会福祉協議会

## 4 「★■社会福祉援助技術演習B・◆演習II」のスクーリング申込みについて

本年10～11月に受講を希望する方は、下記の要領でお申込みください。

申込方法：本冊子巻末の申込ハガキの提出

※第2希望にも必ず○をつけること。

申込締切：9/15必着

受講判定日：9/15・10/15(受講条件が達成されているかを判定します)

※希望の会場・日程で受講したい場合、9/15に条件を達成された方が有利です。

受講条件：「★■演習B」（『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）』  
p.143）、「◆演習II」（『レポート課題集2014（社会福祉編）』p.  
194参照）。

日程・会場：『試験・スクーリング 情報ブック2015』を参照。

※3年生以上の方（本年4月の3年次編入学者を含む）は、今回「★■演習B」「◆演習II」を申込みないと、来年度に実習や卒業ができません。

※各締切日後の提出物受理や受講条件の緩和などは一切ありません。

※第2希望が未記入の場合、申込内容の不備として通信教育部で日程・会

場を指定します。

※「★■演習B」「◆演習II」のスクーリング試験の合格率は例年8～9割で推移しています（26年度合格率93%）。

※受講条件の達成だけでなく、「社会福祉援助技術」ならびに関連知識についての復習など、十分に学習を行ってからの受講を推奨いたします。

※9/15の受講判定において定員を超えた会場については、下記①～③に該当する方を優先的にクラス分けいたします。

①スクーリング受講料や提出物の期限に遅延のない方、②レポートの不正やスクーリングへの遅刻で指摘を受けたことのない方、（それでも決まらない場合は）③入学後の修得単位数が多い方。

## 5 「体験学習・次年度実習ガイダンス」について

今年9/15申込締切の平成28年度「社会福祉援助技術（現場）実習」受講希望者は、「体験学習・次年度実習ガイダンス」を平成25年度（平成25年4月）以降に受講していることが必要です。受講が必要な方は、任意の用紙に「体験学習・次年度実習ガイダンス資料希望」と明記し、学籍番号・氏名を記載のうえ通信教育部まで書面（Eメール・FAX・郵送）でお申込みください。

※ガイダンス受講の代替として、2015年度版の『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』と「体験学習・次年度実習ガイダンス内容確認書」などをお送りします。

## 6 来年度、科目等履修生として「実習科目」受講予定の方へ

1月末までに、下記①～③を行うことが必要です。

①実習科目「★■社会福祉援助技術実習指導A・B・実習」（旧カリの  
方は「◆社会福祉援助技術実習指導・実習」）以外のすべての指定科  
目の単位修得（「★■社会福祉援助技術演習C」スクーリングは、2  
日間連続型は7月まで、分割型は12月までの受講が必要）。

②卒業要件の達成。

③科目等履修生としての再度の出願（ご自身で『募集要項2016』（12月  
頃から配付）をお取り寄せください）。

※実習申込みは9/1～15に、「社会福祉援助技術実習希望届」（『実習の  
手引き 第1分冊』2015年度版 巻末様式3）の「来年度科目等履修生  
での実習希望」欄に○をつけて提出してください。

## 7 来年度「社会福祉援助技術（現場）実習」 の申込みについて

(1) 来年6月第4週～10月第2週（9月末卒業希望者：～8月第2週）に  
実習を希望する方は、以下の要領でお申込みください。

申込期間：9/1～9/15

提出物：『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』2015年度版 p.23参  
照。

※「実習指導A スクーリング申込用紙」は本冊子巻末

受理判定日：10/31 or 11/30 or 12/20 or 1/31

申込受理条件：『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』2015年度版  
p.24～25参照。

※各締切日後の提出物受付や実習申込受理条件の緩和はありません。

### 【ご注意】

・『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』2015年度版をお持ちでない  
方は、次ページ「8 『実習の手引き 第1分冊』2015年度版について

て」をご参照ください。

- ・実習希望先への依頼は、通信教育部で行います。各自で実習先に問い合わせをしないでください。
- ・種別や期間を限定し過ぎると、実習先の決定に時間がかかったり、実習先が見つからず来年度の実施ができない可能性があります。

## 8 『実習の手引き 第1分冊』2015年度版について

今年9/1～15の実習の申込み（来年度実習受講）には、『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』2015年度版（橙色）が必要です。

お持ちでない方は、書面（様式任意：Eメール・FAX・郵送）にてお申込みください。

※平成25年度（平成25年4月）以降に「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講していない方には「体験学習・次年度実習ガイダンス内容確認書」などを同封します。

## 4 国家試験受験希望者へのご案内 社会福祉士・精神保健福祉士

国家試験受験の手続き

※受験申込みは、すべて学生自身で行う必要があります。

### ●『受験の手引』の入手方法

『受験の手引』を「財社会福祉振興・試験センター」より、以下の方法にて、請求してください。

- ・ホームページ：「財社会福祉振興・試験センター」のホームページより（例年7月下旬から）。
- ・郵便はがき：「はがき」の裏面に、ご自身の「郵便番号」「住所」「氏名」



「電話番号」「社会福祉士受験or精神保健福祉士の手引の部数」を記入し、「財社会福祉振興・試験センター」に郵送してください（はがきは『受験の手引』が送付される際の「あて名ラベル」となります）。

【郵送先・問い合わせ先】

公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6

試験案内電話：03-3486-7559（24時間対応）

試験室電話：03-3486-7521（9時30分～17時）

ホームページ：<http://www.sssc.or.jp/>

●証明書の申込方法

『With』108号p. 66～67をご参照ください。

## 5 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★＝平成14～23年度入学者対応の科目

■＝平成24～27年度入学者対応の科目

精神保健福祉士関連の問合せ先（メール） [psw@tfu-ail.tfu.ac.jp](mailto:psw@tfu-ail.tfu.ac.jp)

### ● 発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送日
「◆★精保演習」・「■精保演習A」 スクーリング結果通知	6月・7月受講者	7/31
「■精保実習B」受講申込用紙 (様式11・12・13)	今年度「■精保実習A」 受講予定者	7/31

## 平成23年度以前入学者(旧カリキュラム)の方へ

### 1 「◆★精保演習」スクーリングを受講した方へ

上記科目を合格となり、次年度「◆★精保実習」受講希望の方は、次項3の記載内容に従い、申込みの手続きを行ってください。

不合格となった方は、通知文書の記載内容に従い、「補講演習」を受講してください。

### 2 「◆★精保演習」スクーリング (H27.11/14・15開講)を受講希望の方へ

3年生以上で、すでに「◆★精保演習」スクーリング受講条件を満たしている方(または10/15までに条件を満たす見込みの方)は、本冊子巻末の「◆★精保演習」スクーリング受講希望届(他の希望届と兼用)に必要な事項を記入して、9/15までに申込みを行ってください。

なお、受講希望者が所定の定員を超えた場合は、12/12・13開講の「■精神保健福祉援助演習A」スクーリング(新カリキュラム)との合同受講となりますので、予めご了承ください(可能な限り、両開講日の予定を空けるようにしておいてください)。

11月に演習を受講し、次年度「◆★精保実習」受講を希望する方は、次項3を必ずご確認ください。

### 3 次年度(平成28年度)「◆★精保実習」を受講希望の方へ

次年度「◆★精保実習」受講希望の方は、9/15までに下記の用紙を使用し、申込みを行ってください。10月生は、学年が3年次になってからお申込みください。

- (1) 「精神保健福祉援助実習希望届【様式3】」
- (2) 「学習計画書【様式4-1】または【様式4-2】」  
※【様式4-1】2008年度以前入学者  
【様式4-2】2009～2011年度入学者
- (3) 「実習課題レポート【様式14】」

〈用紙の取得方法〉

- ①すでに「◆★精保演習」を受講した方

受講時に配付された『精神保健福祉援助実習の手引き』巻末の用紙を使用。

- ②今年度11月開講の「◆★精保演習」スクーリング受講者希望者  
本冊子巻末の「◆★精保実習」申込用紙・配付希望届（他の希望届と兼用）を8/31までに精保実習係宛にご提出ください。

※②の申請者には用紙のみを送付します。

（『精神保健福祉援助実習の手引き』は演習受講時に配付します）

## 平成24年度以降入学者(新カリキュラム)の方へ 《実習受講者・実習免除者共通》

### 1 「■精保演習A」スクーリング（6月・7月） を受講した方へ

6/27・28受講者の「■精保演習A」2単位めレポートは7/29に締切りました。7/11・12受講者の「■精保演習A」2単位めレポートは8/12締切りとなっております。

今年度「■精保実習A」受講予定者、次年度「■精保実習A」受講希望者、実習免除者は、それぞれ所定の申込みや条件の期日を確認した上で、計画的に学習を進めてください。

（『レポート課題集A 2015』p.170～171参照）

### 1) 今年度「■精保実習A」受講予定者

「精保実習A計画案」（7/22または8/5提出締切）は、「内諾回答書」に記載の実習機関で作成してください。

「実習日程カレンダー」については、「内諾回答書」に記載の実習指導担当の方に連絡を取って実習の日程を調整し、実習日を記載した「カレンダー」を本学精保実習係宛に提出してください（実習巡回指導担当教員の日程調整に使用しますので、実習先の都合等によりカレンダー提出後に実習期間が変更になる場合は、本学まで速やかにご連絡ください）。

内諾依頼時における実習期間は、実習希望届の内容に従い決定していません。実習日程の調整は、原則として実習先の希望を優先してください。

※実習先の休業日を除く連続15日間の実習を基本としますが、分割は連続する2カ月の間に7日間と8日間（それぞれ連続）のみ可能です（例：10月に8日連続+11月に7日連続）。

なお、実習受講に伴う諸条件の未達成により、実習内諾を取り下げる事態とならないよう、次項2（p.87）をご確認の上、計画的に学習を進めてください。

### 2) 次年度「■精保実習A」を受講希望者

次項3（p.87）をご確認の上、申し込みを行ってください。

### 3) 実習免除者

今年度4月入学の3年次編入学生は、11/30までに「■精保演習B（実習免除者用）」の申込み（H28.2/6・7のみ開講）を行い、2月末までに「■精保演習C（実習免除者用）」の申込み（次年度5月開講予定）を行わないと、最短2年間での卒業は不可能となりますので、スクーリングを受講するための日程調整などはお早めに行ってください。

（【条件8・9】：『レポート課題集A 2015』p.172参照）

## 《実習受講者専用》 「■精保実習A」(10/1～2/15) 関連

### 2 今年度「■精保実習A」受講予定の方へ

今年度「■精保実習A」受講予定の方は、8/22・23または9/5・6の「■精保演習B-1・実習指導A-1(実習A事前指導)」スクーリングの受講が必須となります。所定の事前課題等をそれぞれの期日までに作成・提出・持参してください。

(『試験・スクーリング情報ブック2015』p.46参照)

「■精保演習B-1・実習指導A-1」スクーリング当日に提出する「精保実習A個人記録」「誓約書」「健康診断書」「交通アクセス」の各様式は、不備により毎年必ず再提出となる方がいますので、記入漏れ等のないよう作成してください。また、『精保実習A課題ノート』は、鉛筆書きで各ページの課題とも可能な限り余白全面を埋めるよう努力してください。(数行しか記入されていない場合は、面談実施の上、再提出となります)

なお、今年度「■精保実習A」を受講し、次年度「■精保実習B」を受講するためには、下記の手続き・条件を満たす必要があります。

- ①8/31までに【条件3】を達成
- ②9/15までに「■精保実習B」申込み
- ③9/30までに【条件4】を達成

(【条件3・4】:『レポート課題集A 2015』p.172参照)

### 3 次年度(平成28年度)「■精保実習A」を受講希望の方へ

次年度「■精保実習A」受講希望の方は、11/30までに下記の用紙を使用し、申込みを行ってください。

- (1)「精神保健福祉援助実習A受講希望届【様式1】」

- (2) 「精神保健福祉援助実習A課題レポート【様式2】」
- (3) 「精神保健福祉援助実習A受講に向けた学習計画【様式3】」

〈用紙の取得方法〉

本冊子巻末の「■精保実習A」申込用紙・配付希望届（他の希望届と兼用）を8/31までに精保実習係宛にご提出ください。

## 「■精保実習B」（7/1～12/25）関連

### 4 今年度「■精保実習B」を受講している方へ

巡回指導担当教員から実習指導者に対し巡回指導の日程調整が行われているかについては、自己責任により各自で実習指導者に確認してください。実習開始から半ばにさしかかった頃になっても調整が行われていない場合は、電話（※）にて直接巡回指導教員にその旨の連絡を取り、本学精保実習係にもご連絡ください。

※実習期間が12日間と短いため、メールや郵便・FAXの場合は、確認が遅れる場合があります。また、万が一実習期間中に巡回指導が行われない場合、実習が無効となりますのでご注意ください。

### 5 次年度（平成28年度）「■精保実習B」を受講希望の方へ

次年度「■精保実習B」受講希望の方は、9/15までに下記の用紙を使用し、申込みを行ってください。

- (1) 「精神保健福祉援助実習B受講希望届【様式11】」
- (2) 「精神保健福祉援助実習B課題レポート【様式12】」
- (3) 「精神保健福祉援助実習B受講に向けた学習計画【様式13】」

〈用紙の取得方法〉

- ①今年度「■精保実習A」受講者または受講予定者…7月末に郵送済。

- ②前年度までに「■精保実習A」を受講した方…8月15日までに精保実習係宛に書面（メール・郵送・FAX）にて申し出て、用紙をお取り寄せください。

## 6 「■精保演習C-2・実習指導B-2」スクーリング（9月）について

標記スクーリングは、①9月卒業希望者で、②8月2週目までに「■精保実習B」を受講し終える予定の方を対象としておりましたが、対象者が定員（10名以上）に満たなかったため、開講は取り止めとなりました。

## 6 教職免許状 取得希望の方へ

すでに何度もご案内済みですが、下記の受講期限をご確認ください。

介護実習事前指導 平成28年7月までにスクーリング受講

介護実習 平成29年2月までに実習受講

教育実習事前指導 平成29年3月までにスクーリング受講

教育実習 平成29年7月までに実習受講

教職実践演習 平成29年8月までにスクーリング受講

障害者教育実習事前指導 平成29年8月までにスクーリング受講

障害者教育実習 平成29年2月までに実習受講

p. 56でご案内のとおり、特別支援学校教諭免許状関連科目のスクーリングについて、今年度または平成28年度で最終開講になるものが多くなりますので、ご了承ください。

### 【重要】教職免許状取得希望の皆様へ

本学における平成27年度の学部学科改組に伴い、通信教育部では「教職

免許状」の課程認定を取り下げております。そのため、免許状取得のため学習されている在学生の皆様には、現在不確定ながら以下の点について問題が生起する可能性がございますことをお詫び申し上げます。

- 科目等履修生が教職免許状の科目として履修する際、年度によりその科目で正科生の履修者がいなくなると、教職免許状の科目として認められなくなる可能性があること。
- 特別支援学校教諭免許状取得希望者は、平成28年度以降の学籍変更（再入学）ができなくなる可能性があること。

※高等学校教諭免許状取得希望者は、すでに学籍変更はできません。

以上となりますが、在学中の皆様に来る限り不利益のないよう、今後文部科学省の指導のもと学内にて検討を重ねてまいります。なお、最新の状況・情報につきましては、今後の『With』等にてご案内いたします。

なお、教職免許状取得希望者には、今後、個別の案内をいたし、学習予定などをお伺いしたりすることもございます。ご協力をよろしくお願いいたします。

## 1 実習関連書類の発送状況について

対象の方へ実習関連の下記書類を送付しています。未着の場合は大至急ご連絡ください。

対象者	送付書類
登録カードを本学へ提出済の方	「内諾依頼状関連書類」（発行条件を達成した方のみ）
実習受講条件を達成した方	「実習受講許可証」「実習日誌（※）」 ※平成21年8月以前の事前指導受講者には、配付済み
実習校から内諾書が届いた方	「実習期間確認書」
免除申請が受理された方	「事前指導スクリーニング免除通知」



## 2 高等学校教諭一種免許状(福祉)希望の 「教育実習」「教職実践演習(高)」受講希望者へ

「履修カルテ(10月生)」: 9/10ごろ発送予定

※「履修カルテ」をこれまでに提出したことのある方が対象となります。  
新規の提出はできません。

## 3 平成28年度実習希望の方へ

北海道や東京都、仙台市近郊での教育実習受入れについては、特別なルールが定められていますので、下記をご参照ください。

<平成28年度>

【北海道】特別支援学校 実習申込みは7月で終了しました。

【東京都】公立学校(高校福祉科・特別支援学校) 教諭免許状取得のための実習希望者は、平成27年9月15日までに、本学通信教育部に書面でお申込みください。

(申込条件) なお、条件を満たす方でも、平成28年度の実習受入れが可能かどうかは未定です。

- 1) 高等学校卒業時まで東京都内在住の方
- 2) 東京都公立学校採用候補者選考試験を受験予定の方

【仙台市およびその周辺】下記の特別支援学校(7校)

- ・光明支援学校 ・利府支援学校 ・名取支援学校 ・聴覚支援学校
- ・鶴谷特別支援学校 ・船岡支援学校 ・いずみ高等支援学校

下記事項を明記した書面を郵送(またはメール・FAX)で大至急提出してください。

- ①氏名・住所・電話番号・(あれば)メールアドレス
- ②所持している基礎免許(幼・小・中・高や教科)
- ③実習希望の学校での主たる領域(知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚

障害)

④実習希望校

⑤実習希望時期（28年度5～7月か、10月以降か）とそのための学習計画

⑥特に配慮が必要な事項（特別な事情がある場合の方のみ）

※仙台市内の特別支援学校での実習が非常に混んでいる現状があります。また、仙台近郊の在住者のみ申込可能です。

#### 【上記の地域以外】

兵庫県、広島県、北九州市など、実習前年度に特別な手続きを要する地域がありますので、ご確認ください。

「内諾依頼状」発行条件につきましては、下記ページをご参照ください。

- 介護実習 『レポート課題集D（特別支援編）』 p.118～121
- 福祉科教育実習 『レポート課題集2014(心理・教職編)』 p.184
- 障害者教育実習 『レポート課題集D（特別支援編）』 p.95～96

※いずれの実習も、事前指導スクーリングの受講手続きは別途必要ですので、ご注意ください。

## 4 特別支援学校教諭二種免許状取得希望の方へ

すでに『レポート課題集D（特別支援編）』 p.75でお知らせのとおり、2014年および2015年3月まで配付していた入学者用募集要項の「発達障害教育総論」について、領域の記載の誤植がありました。

「発達障害教育総論」の領域は、重複・LD等（言語・情緒・LD・ADHD）です。ご注意ください。

※6条別表7の方法で二種免許をとる方などのうち、本学で「コミュニケーション障害教育（言語障害教育）」を履修していない方には、重要な情報です。

※「障害者教育実習」を履修する方など5条別表1の方法で履修する方にはとくにご心配をいただく必要はございません。

## 7 幼保特例講座受講の方へ

### ●2015年度新入生10月生の方へ

#### (1) 『With』(本冊子)について

特に重要なのは下記のページです。

##### ・3部 科目修了試験のご案内

※受験希望者は巻末ハガキでのお申込みをお忘れなく。

※受験科目のレポート提出期限は試験申込締切日必着です(「TFUオンデマンド」上でレポート解答の場合は申込締切日までに合格が必要)。

##### ・8部(または7部)「幼保特例講座 受講の方へ」

※レポートや『幼保特例講座 科目ガイド』の修正等もご案内します。

#### (2) 『試験・スクーリング 情報ブック2015』について

特に重要なのは「2部 科目修了試験」と「6部 会場案内」です。

※レポートを郵送で提出する方は「1部 通信教育部カレンダー」に記載の「レポート受付日」を目安に努力してみてください。

#### (3) 入学許可時に送付された冊子をご確認ください

①『学習の手引き 2015』(p.108~114からお読みください)

②『幼保特例講座 科目ガイド』(レポート提出上の留意点も記載)

③『試験・スクーリング 情報ブック2015』(上記(2)参照)

④『With』(上記(1)参照)

#### (4) 入金後に送付されたものをご確認ください

①履修登録科目と教科書が書かれた用紙(保管ください)

②履修登録科目のレポート

③履修登録科目の教科書

※不足があれば、到着後10日以内にお申し出ください。

※「学生証」「氏名バーコードシール」「履修状況表web閲覧システム パスワード」は、上記①～③とは別便で9月末以降に送付いたします。

## ●2014年度入学10月生の方へ

### (1) 「TFUオンデマンド」でのレポートの配信について

『With』106号でもご案内のとおり、レポート提出期限は8/31ですので、「TFUオンデマンド」でのレポートの配信も8/31で一旦停止いたします。8/31までに解答したレポートについては9/1に成績登録を行います。継続手続きをされた科目については、学費納入後に10/1以降配信を再開します。2015年度の学費の納入確認が10/1以降となる方は、学費の納入が確認できてから2週間程度で配信を再開します。

### (2) 継続手続きについて

すべての単位を修得していない方で、10月以降の学習を継続希望される場合は、8月下旬にお送りする書類を使用して、10/10までに継続手続き（履修登録用紙・継続申込書・宅急便宛名用紙を通信教育部に提出）と、10/20までに学費の納入をお願いいたします。

## ●教科書の後送について

現在後送となっている科目は、保育士資格取得科目の「保健と食と栄養」のみです。

後送対象者にお送りしたお手紙でご案内のとおり、遅くとも8月上旬にはお送りさせていただく予定ですので、今しばらくお待ちください。お待たせしてしまい大変申し訳ございません。

## ●保育士資格取得希望の方へ

すべての単位修得後に、保育士試験事務センターへ保育士試験の受験申

請が必要です。10月の保育士試験受験申請をするための手続きは以下のとおりです。

- ①9月の科目修了試験までに、「乳児保育」以外の科目について受験し合格する（「相談支援」は8月のスクーリングで合格している場合、受験不要）。
- ②スクーリング受講科目のレポートについては、8月末までに提出し9月末までに合格する。
- ③すべての単位修得（レポート合格+科目修了試験orスクーリング合格）後、大学に「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書（特例教科目）」の発行申込みをする（「各種証明書申込書」（『学習の手引き』巻末様式8および本冊子巻末）を提出。定額小為替300円分と返信用封筒〔宛名明記・82円切手貼付〕を同封）。
- ④必要書類を揃えて保育士試験事務センターに保育士試験の受験申請を行う（申請書類の取り寄せ方法や必要書類などは、全国保育士養成協議会のホームページなどで確認してください：8月頃案内予定）。
- ⑤保育士試験の全科目免除による合格通知書が届いたら、必要書類を揃えて保育士登録事務処理センターに保育士の登録申請を行う（申請書類の取り寄せ方法や必要書類などは、保育士登録事務処理センターのホームページなどで確認してください）。

#### ●幼稚園教諭免許状取得希望の方へ

すべての単位修得後は、各都道府県教育委員会へ免許申請が必要です。免許申請の手続きは以下のとおりです。

- ①すべての単位修得（レポート合格+科目修了試験合格）後、大学に「学力に関する証明書 幼稚園（特例科目）」の発行申込みをする（「各種証明書申込書」（『学習の手引き』巻末様式8および本冊子巻末）を提出。定額小為替600円分と返信用封筒〔宛名明記・82円切手貼付〕を同封）。

②必要書類を揃えて各都道府県教育委員会へ免許申請を行う（申請書類の取り寄せ方法や必要書類などは、教育委員会のホームページなどで確認してください）。

●すべての単位修得後の手続きについて

上記の保育士試験受験申請または幼稚園教諭免許状申請の他に『学習の手引き』巻末様式15 or 19を提出し、大学へ学生証の返納と修了手続きが必要となります（証明書発行申込み書類に同封可）。